

井上吉次郎 いの上 きちじろ 新聞記者、社會學者、文學博士。明治二十二年四月十七日和歌山縣生れ（二八六一）。大正九年東京帝國大學文學部哲學科卒。大阪毎日新聞社入社。出版局長、副主筆、編輯局顧問兼總務局顧問歴任。のち新大阪新聞社主筆、關西大學教授。

譯著書、マックス・タイツァー（マックス・トゥー）著『社會學』（譯、大正十一年五月、二十五日早稻田大學出版部）、『右やひだり』（大正十四年七月一日大阪毎日新聞社・東京毎日新聞社）、『現代ジャーナリズムの理論と動向』（合著、昭和八年十二月二十五日内外社）、『コンペン社會學』（昭和七年四月五日淺野書店）、『金の社會學』（昭和七年十二月五日淺野書店）、『労働以外』（昭和八年十一月二日時潮社）、『海の蒼生記』（昭和十一年一月十五日言海書房）、『手と足』（昭和十一年五月、二十日人文書院）、『觀もの』（昭和十五年十月十一日大阪・文友堂書店）、リッター著『社會體制』（譯、昭和十九年二月五日春英書院）、『近代社會史談』（昭和二十四年一月三十一日鳳書院）、『大衆文化』（昭和二十六年六月一日法律文化社）、『かわげブックス』（『記者と學者の間』（昭和二十九年二月）二十五日大阪・井上吉次郎博士喜壽記念出版行會）等。